

Inland Flooding Hazard Map

津幡町内水ハザードマップ

水害の危険を知り、
命を守る



津幡町

令和7年4月

防災メモ

わが家の防災メモ

日頃から家族みんなで確認しましょう。

わが家の避難場所

家族が離れ離れになった時の集合場所

わが家の緊急連絡先

防災関係機関の連絡先

災害時に関係する機関の連絡先を確認しましょう。

種類	名称	電話番号	種類	名称	電話番号
役場	津幡町役場	288-2121	県の 機関	石川県津幡土木事務所	289-4161
警察	津幡警察署	289-0110		石川県危機対策課	225-1482
	能瀬駐在所	288-2174		石川県土木部河川課	225-1736
	津幡南交番	288-7010		石川県中央保健福祉センター (河北地域センター)	289-2177
	俱利伽羅駐在所	288-1150			
消防	津幡町消防本部	288-3000	緊急指 定病院	公立河北中央病院	289-2117

浸水の想定条件

この「津幡町内水ハザードマップ」は、最大規模の浸水に備えるために、想定し得る最大規模の降雨により想定される浸水区域を浸水の深さに応じて色を分けて表示した図面です。

着色されている箇所は周辺よりも地盤が低く、水路から溢水した雨水が溜まりやすい状況であることを示しています。浸水シミュレーションによる想定ですので、着色されていない箇所において必ず浸水が発生しないということではありません。

なお、土地利用や雨の降り方、下水道や川の整備状況等により、実際の浸水状況と異なることがある点に留意してください。

●内水氾濫

内水氾濫とは、下水道で雨を排水しきれず発生する浸水のことです。

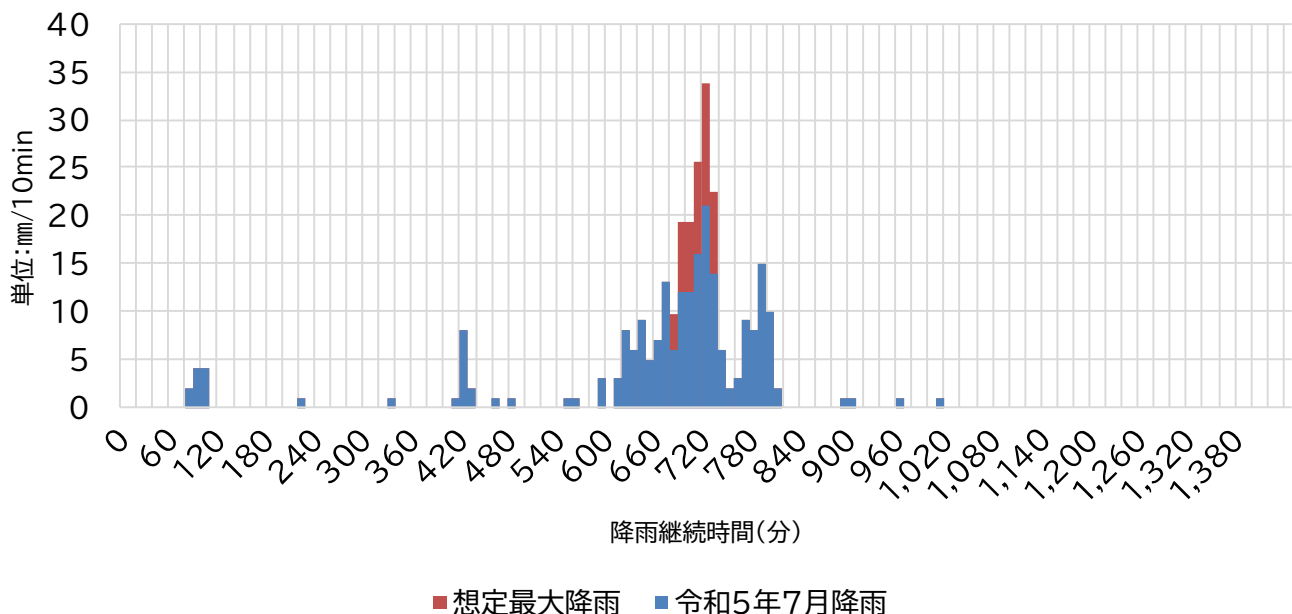
想定降雨	津幡町において想定し得る最大規模の降雨として、時間最大雨量 130mm で浸水シミュレーションを行っています。 なお、下水道事業では、時間最大雨量 55mm を排水できるよう整備を行っており、想定最大規模降雨はこの倍以上の雨量を想定したものです。
浸水の想定方法	上記の雨量が津幡町全域に降った場合に、雨を排水しきれず地上に溢れた水がどのように氾濫し広がっていくかをシミュレーションしています。

注1:土地利用状況は「土地利用細分メッシュデータ(国土交通省)」をもとに設定しています。

注2:下水道の整備状況は令和6年度末時点のものを反映しています。

◆令和5年7月豪雨について

令和5年7月12日から13日にかけて北陸地方を南下した梅雨前線等により、大気の状態が非常に不安定と特に激しい大雨となり、津幡土木事務所の観測所では1時間当たり **80mm以上** の雨量を観測しました。



身を守るための事前の準備

◆ハザードマップのチェックポイント

①自宅や職場の場所をチェックしましょう。

色が塗られていれば浸水の危険があるため避難が必要です。



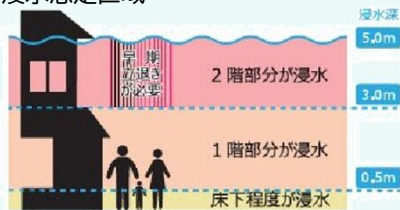
色が塗られていなくても油断は禁物です。

色が塗られていない場所でも必ず安全だとは限りません。特に堤防や橋より低い場所は浸水の危険があると考えて注意してください。



②浸水の深さをチェックしましょう。

浸水想定区域



過去の水害では自宅で亡くなった人も多くいました。

浸水すると部屋の中の移動や階段を上がることも困難です。

特に高齢者は早めに避難しましょう。

③避難場所・避難経路をチェックしましょう。

避難場所を確認しましょう。なお、避難場所のなかには指定緊急避難場所、指定避難所に指定されているものがあります。避難の際には、最新の災害情報や避難場所の安全性、リスクを確認し、適切な判断を行うことが重要です。

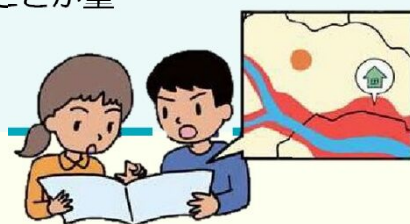
また、避難場所だけでなく避難経路も確認しましょう。



大雨時には土砂災害や洪水も複合的に発生する可能性があります。避難場所までの経路に浸水や土砂災害、橋や横断地下道などの危険がないか確認して、危険な場所是通过らないようにしましょう。



横断地下道



※津幡町では「津幡町土砂災害ハザードマップ」及び「津幡町洪水ハザードマップ」を作成して、町のホームページで公開しています。

土砂災害や洪水の危険のある箇所を確認しておきましょう。

<https://www.town.tsubata.lg.jp/page/1174.html>



4つの避難行動

「避難」とは、災害などの「難」をうまく「避」けることです。

指定避難所に行くことだけが避難ではありません。

「自らの命は自らが守る」という意識を持ち、あなた自身の避難行動を考えておきましょう。

指定避難所 への立退き避難

自ら携行するもの

- ・マスク
- ・消毒液
- ・体温計
など。



安全な親戚・知人宅 への立退き避難

普段から災害時に避難することを
相談しておきましょう。



普段から
どう行動するか
決めておき
ましょう

通常の宿泊料が必要です。
事前に予約・確認しておきましょう。



安全なホテル・旅館 への立退き避難

ハザードマップで以下の「3つの条件」を
確認し、自宅にいても大丈夫かを確認す
ることが必要です。



※土砂災害の
危険がある
区域では立
退き避難が
原則です。

屋内安全確保

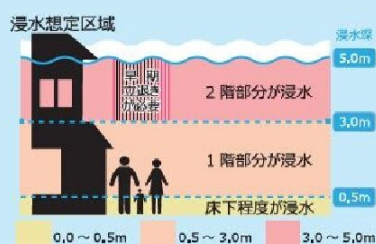
「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

①家屋倒壊等氾濫想定区域に
入っていない(入っていると…)



洪水時の河岸
浸食により、
家屋が流失・
倒壊するおそ
れがあります。

②浸水深より居室は高い



③水がひくまで我慢でき、
水・食糧などの備えが十分
(十分じゃないと…)

水、食糧、薬等の確保が困難になる
ほか、電気、ガス、水道、トイレ等
の使用ができなくなるおそれがあり
ます。

大雨時の取るべき行動

◆大雨時の防災情報と行動の目安

避難情報等 (警戒レベル)				河川水位の情報 (警戒レベル相当情報)	
※ 警戒 レベル	状況	住民のみなさんが 取るべき行動	避難情報等	防災気象情報 (警戒レベル相当情報)	
				浸水の情報(河川)	
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保	5 相当	氾濫発生情報
~~~~~ 警戒レベル4までに必ず避難！ ~~~~~					
4	災害の おそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示	4 相当	氾濫危険情報
3	災害の おそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難	3 相当	氾濫警戒情報 洪水警報
2	気象状況 悪化	自らの避難行動 を確認	大雨・洪水注意報	2 相当	氾濫注意情報
1	今後気象状況 悪化のおそれ	災害への心構え を高める	早期注意情報	1 相当	—

※各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

町は、様々な情報をもとに避難情報を発令する判断を行うので、必ずしも防災気象情報と同じレベルの避難情報が、同時に発令されるわけではありません。

自らの命は自ら守る意識を持って、防災気象情報も参考にしながら適切な避難行動をとってください。

# 避難の心得

## ①避難する前に

避難する前にガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを落とし、親せきや知人などに避難する旨を連絡しておきましょう。



## ②避難の呼びかけに注意を

町や消防団から避難の呼びかけがあった場合には、速やかに避難しましょう。



## ③お年寄りなどの避難に協力を

お年寄りや子ども、病気の方、体の不自由な方などは、早めの避難が必要です。避難に支援が必要な方に協力しましょう。



## ④集団での行動を

場所によっては、洪水による水の流れが速い危険な箇所もあるので、集団での行動を心がけましょう。



## ⑤車での避難は注意

浸水深が30cm以上で走行が困難になることが一般的です。事故や緊急車両の妨げにもなりますので、特別な場合を除いては徒歩で避難しましょう。



## ⑥足元に注意

大雨により、マンホールの蓋が外れることがあります。マンホールや側溝に足を踏み外す危険があるので、棒などを杖代わりにして足元に注意しながら避難しましょう。



## ⑦正確な情報収集を

ラジオやテレビなどで最新の気象情報、避難行動を入手し、早めの行動を心がけましょう。



## ⑧地下施設への浸水にも注意

半地下駐車場の浸水被害も増えています。日頃から排水設備(ポンプ)の点検や、土のう、止水板を準備しておきましょう。





# 水害に備える

☐ ハザードマップ(この地図)

☐ 筆記用具

☐ スマホ・携帯電話

☐ 懐中電灯

☐ 携帯ラジオ

☐ 予備電池・バッテリー

☐ 飲料水

☐ 非常食(保存食)

☐ 箸・フォークなど

☐ 敷物類

☐ 大小ビニール袋

☐ 軍手など

☐ 粉(液体)ミルク・ほ乳びん

☐ おむつ類



☐ 現金

☐ 印鑑・保険証

☐ ハンカチ・タオルなど

☐ 下着類・衣類

☐ レインウェア

☐ ひざ掛けなど

☐ 常備薬

☐ 消毒液・包帯など

☐ 石けん

☐ ティッシュ類

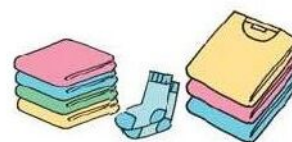
☐ 生理用品

☐ 歯磨きセット

☐ マスク

☐ 体温計

☐ 手指消毒液



## ◆被害を抑えるための自衛策

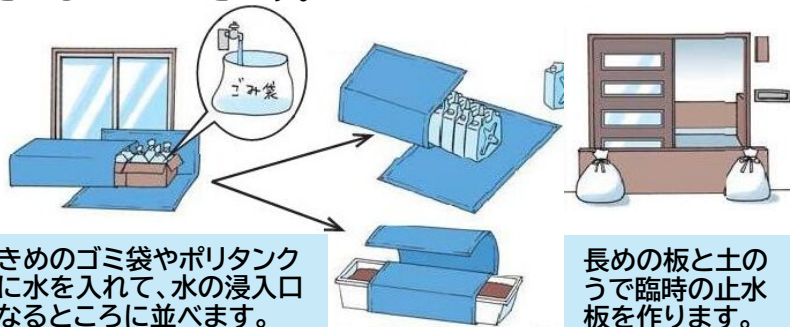
### 家のまわりを点検・整備

家の前の排水口が詰まっていな  
いかの確認や風で吹き飛ばされ  
る物の撤去等が必要です。



### 家庭でできる簡易防水

浸水深が浅いときは、家庭にあるものを使って水の浸入を減  
少させることができます。



## ◆地域での助け合い活動

災害に立ち向かうには、行政の対応だけでは限界があります。災害から身を守るためには、住民  
ひとりひとりが災害に備える【自助】、また地域における自主防災組織などによる【共助】が必要不  
可欠です。

### 自助



### 共助



地域で行っている避難訓練に積極的に参加して、水害に備えましょう

# 災害関連情報の入手方法

## 津幡町災害対策本部

広報車

防災行政無線

テレビ・ラジオ  
ケーブルテレビ  
FMかほく(78.7MHz)

インターネット  
町防災メール  
町公式SNS

災害行政FAX  
(区長宛)

津幡町民のみなさん

## 情報の入手先

### Yahoo! 防災速報

ヤフー株式会社が提供する地震速報やJアラート、豪雨予想などの防災に関する速報を、スマートフォンやタブレット端末で利用できるアプリ版で受け取るサービスです。

Yahoo! 防災速報  
「Yahoo! JAPAN」



### 地上デジタル放送(dボタン) ※NHKの場合

気象情報・雨量情報・水位情報のほか、避難情報等を確認できます。

#### 【確認方法】

- ①NHKにチャンネルを合わせ、リモコンの「dボタン」を押す。
- ②「防災・生活情報」を選択し、「決定ボタン」を押す。
- ③気象情報や避難情報、河川水位情報等を選択し、「決定ボタン」を押す。
- ④見たい市町村を選択し、「決定ボタン」を押す。



### 防災行政無線

放送内容は、電話で確認できます。

防災行政無線  
電話番号ガイド  
076-289-3150

### 広報車

緊急時は、広報車で町内を巡回放送します。

### チャンネルつばた

災害情報や避難情報を文字放送にてお知らせします。

### ラジオ

災害時には、役場からFMかほく(78.8MHz)を通して、割込み放送をお送りします。

### 町公式SNS

LINE、X(旧Twitter)  
Facebookなど

LINEで友だち登録していただくと町の緊急情報が通知されます。  
@tsubata-town



### 津幡町メール配信サービス

防災情報や気象情報などをメールでお知らせします。



### 災害行政FAX(区長宛)

災害時に避難所情報等を区長へお知らせします。

### インターネット

津幡町ホームページよりハザードマップや避難情報を確認できます。  
<https://www.town.tsubata.lg.jp/>



## 国・県の提供する情報

### 石川県防災ポータル

県内の災害情報(自然災害・地震など)の情報を提供しています。  
<https://pref-ishikawa.secure.force.com/>



### 石川県河川総合情報システムホームページ

県内の雨量、国及び県管理河川の水位情報を提供しています。  
<http://Kasen.pref.ishikawa.lg.jp/ishikawa/>



### 川の防災情報(国土交通省)

河川の水位情報(水位計・監視カメラ)などの情報を提供しています。  
<https://www.river.go.jp/index>



### 石川県土砂災害情報システムホームページ

県内の土砂災害危険度などの土砂災害情報を提供しています。  
<https://sabo.pref.ishikawa.lg.jp/sabo-i>

